

国際情勢・国内情勢について

依然としてウクライナ、パレスチナでの戦闘は続き、国内では1月1日、能登半島は大きな地震に襲われました。国内外ともに平穏な日常はまだまだ先のことになりそうです。改めて戦闘の即時停止、日頃から災害への備えの必要性を教えられました。

国内では、自民党派閥の裏金疑惑は政治倫理審査会で一定の質疑があったものの、事実解明はほど遠いものとなり、政治と金を巡る疑問がさらに大きくなりました。また、億単位のお金の授受に全く税金が課せられていないことや、政治資金規程法の改正についても方向性が示されていないことなどの課題があります。

市民・国民の怒りは大きくなるばかりです。当面4月に福山市では市議会議員選挙があります。私たちが支援する人を市議会に送り出したいと思えます。

予算特別委員会の討論 (市民連合)から

1. 市内の公園・街区公園の遊具設置については計画的に実施することにも、インクルーシブ遊具の整備については、時代の要請でもあり、障がいの有無にかかわらず、あらゆる子どもたちが一緒に遊べる遊具を、早期に使用できるように取り組むこと。

2. これまで取り組んできた学校図書館整備事業や今年度の教育テーマ「記号接地」※等については、子どもたちや教職員に十分な理解を得ているとはいえない現状である。より一層子どもたちや教職員に寄り添う取り組みとなるよう努めること。

※「記号接地」今、教育委員会として取り組もうとしているメインテーマで、もともと人工知能(AI)の用語であり、身体感覚や経験とつながって、言葉の意味を理解すること。

3月 定例議会報告をお届けします

市長総体説明より

3月議会冒頭、市長は能登半島地震に触れられ、被災者の皆様が一日も早く日常を取り戻せるよう、できる限りの支援をしていくと表明。また、市政運営の基本方針として「あらゆる世代が輝く魅力あふれるまちづくり」「安心・安全で快適に暮らすことができるまちづくり」「新しいまちづくりの基盤となるデジタル化の推進」の3つあり、その具体として、第二子以降の保育料無償化等の負担軽減、子どもの学びの充実、若者の地元就職支援、福山駅周辺のにぎわい創出等について述べられました。

西本代表質問から



- 今回は10項目にわたって質問しました。
- ①市政の当面する課題と市長の政治姿勢について
 - ②人権行政について
 - ③第4期福山市介護保険事業計画について
 - ④福山市高齢者、障がい者等のごみ出し支援モデル事業について
 - ⑤鳥獣被害対策について
 - ⑥路面標示などの交通安全対策について
 - ⑦教職員の病気休暇、早期退職などについて
 - ⑧医療的ケア児通学支援事業について
 - ⑨学校図書館整備事業について
 - ⑩学校給食無償化について

市長の答弁を受け、第2質問冒頭での発言

まず、ウクライナの戦闘では両軍で少なくとも19万人が亡くなったといわれており、今現在も子どもたちを含め多くの尊い命が奪われている状況がある。国として一日も早い停戦が実現するよう取り組むべきだと思います。

パレスチナのがザ地区でも同じ状況があり、これ以上の不幸な状況を起こさせないために、一日も早く闘いを止める努力をすることは、世界の大人の責任でもあると思えます。

被災地へ寝袋を



地震災害後、岡山県総社市と野口健さんへアルピニスト「登山家」を呼びかけとする寝袋を被災地へ送るプロジェクトが新聞で紹介されました。何か支援ができなにかと考えていた時だったので、購入したばかりの寝袋が2個あり、早速、総社市役所の担当課へ送りました。しばらくして「現地の方々には大変喜んでいただきました」と総社市長から礼状が届きました。少しでも役に立たせたのかなと思えました。自分力所能及を今後も続けていきたいと思っています。

長い間お世話になりました 「感謝」

この議会報告も今号で80号となりました。20年前に多くのみなさまのご支援をいただき福山市議会に送っていただきました。それから、年4回の市議会定例議会ごとに議会報告を1回も欠かすことなく届けることができました。パソコンによる制作でない文章に、多くの方から激励の連絡もいただきました。

長い間ご支援いただき、本当にありがとうございます。この間、支援者のみなさまの声から、政策提案で実現したこともたくさんありました。

4月30日をもって市議会議員としての任期は満了となりますが、今後も20年間の経験を生かして、何らかの形で貢献していただいたみなさまと繋がって行きたいと思っています。これからも「健康・ご健勝を心よりお祈りいたします。みなさまのご健康・ご健勝を心よりお祈りいたします。」